

# GC Returns

## 『World Heritage GC Returns 2026』

### Rd-1 開催のお知らせ



World Heritage Foundation 

**PONOS**

*Kurovision*

KT Electronics  
**KTEL**  
Laboratory

**SPEED  
FESTIVAL  
2026**  
TIPO OVERHEAT MEETING

“GC Returns”実行委員会  
一般社団法人 ジーシー・リターンズ

# 『GC Returns 2026』伝説、再び **GC Returns**

1972年に誕生し、日本のモータースポーツ史に名を刻んだ「富士グランチャンピオンシリーズ（GC）」。

その魂を受け継ぐ『GC Returns』は、2025年の復活大会を多くの皆様のご支援のもと成功裏に終えることができました。

そして2026年、『World Heritage GC Returns 2026』は全3戦での開催が決定、第1戦を岡山国際サーキットにて開催いたします。

往年の名車が躍動する迫力、時代を超えて受け継がれるレーシングスピリット。

「走る喜び」「競う情熱」「観る感動」を、より多くの方へ届ける舞台として、進化したGCが再び走り出します。  
ぜひサーキットで、“グラチャン”の熱気をご体感ください。

---

## 『World Heritage GC Returns 2026』第1戦

### ◎ イベント詳細

2026年7月20日(月) 岡山国際サーキット

「SPEED FESTIVAL 2026 TIPO OVERHEAT MEETING」併催

7月19日(日)

・フリープラクティス : 16:00-16:30 / 17:00-17:30

7月20日(月)

・予選 (20分間) : 10:10-10:30

・レース (15周) : 13:00-13:40

・GC Carによるエキジビションレース

・GC Car (Gen-1、Gen-2、Gen-3)混走

・出走予想台数 12台 (3クラス合計)

### ◎ 大会主催

・ティーポ ネコ・パブリッシング株式会社

### ◎ レース主管

・GC Returns 実行委員会/一般社団法人 ジーシー・リターンズ

### ◎ 協賛

・公益財団法人ワールドヘリテージ財団/ポノス株式会社

### ◎ 後援

・レジェンドレーシングドライバーズクラブ

## ◎ GCシリーズ変遷

## 1972年～1978年 2座席2リッター時代 (Gen-1)

Chevron、Lola、March、GRD等の海外マシンに、SIGMA、BELCO、ISUZU、EVA等の国内コンストラクターが開発したマシンが参戦し、エンジンもBMW、FORD、マツダロータリー、三菱、トヨタと、個性的なマシンがグリッドに並んだ。



## 1978年～1986年 1座席2リッター時代 (Gen-2)

比較的自由度が高い車両規則を活用し“2座席スポーツカー”に空力的に効率の高いシングルシーター特製ボディを架装したのが始まり。更なる性能向上を求めて、F2シャシに同様のボディを架装し完全なシングルシーターへと進化。シャシはMarch、エンジンはBMW、YAMAHA、ボディはMCSが主流であった。



## 1987年～1989年 1座席3リッター時代 (Gen-3)

Gen-2同様の空力ボディをハイダウンフォース化しF3000シャシに架装、F3000の高性能シャシに3リッターのパワフルなエンジン（FORD、無限、マツダロータリー）はGCカーを超高性能マシンへと変貌させた。



# GC Returns



World Heritage Foundation 

**PONOS**

*Kurovision*

KT Electronics  
**KTEL**  
Laboratory

**SPEED  
FESTIVAL  
2026**  
TIPO OVERHEAT MEETING

---

問い合わせ先

GC Returns 実行委員会

一般社団法人 ジーシー・リターンズ  
605-0853  
京都市東山区東大路松原上る星野町92  
Email: [info@gc-returns.jp](mailto:info@gc-returns.jp)  
URL : <https://gc-returns.jp/>